まちづくりひろしま
被爆１００年(西暦2045年)の姿をめざして

第２４号（平成２８年７月１５日）
読者数：５６３名（募集中）
メール：hirosima.idea.c@chugokuc.co.jp
〒733-0002　広島市西区楠木町 1-9-7
発行人：前岡智之、編集人：瀧口信二
配信元：広島アイデアコンペ実行委員会
ご提案・ご意見等は、こちらまで

□巻頭言

おもてなしの態度とは～外国人旅行者の急増に対して

広島諸事地域再生研究所　代表
石丸　紀興

最近、原爆ドーム・平和公園や宮島といった有名観光スポットだけでなく、こんなところにもと思われる場所にも外国人旅行者が訪れており、外国人旅行者の急増を実感している方も多いであろう。縮景園でも、広島城でも、はては裏通りや居酒屋でも外国人によく出会うし、大きな荷物を持った外国人が街を歩いている姿にもよく見かけるであろう[1)]。

ここ数年、確かに貸し切りバスの駐車行列とか、爆買いとかいわれる現象もみられたが、広島にはどちらかといえば欧米系、小集団の旅行者が多くみられることから、彼らは日本の独特の魅力を感じ取ってくれているのかもしれない。

大きな荷物を持って移動する外国人旅行者―広島駅付近の駅前大橋交差点で

おもてなしの態度を売りにしてよいか

日本人には「おもてなしの態度」「おもてなしの精神」があるとよくいわれる。確かにこのように評価されることは有り難いし、このような評価を大切にしていきたい。しかし実態はどうか。

街を歩いていると広島の地図を持つ外国人によく出会う。今どこにいるのか、目標の場所にどうやったら行けるのか、迷っている人がいる。橋の名前や通りの名前もわかりにくいし、気がつけば、市内での英語表記は意外に少ないし、さらに多言語表記はほとんど皆無である。

何か聞かれればわかる範囲で答えればよいし、迷っておられれば少し手を差し伸べる必要があるかもしれない。そのためには市民は日常的に広島のことをよく知っておいた方が良い。すなわち、果たして市民は、通りの名前や川の名前、主な建物の名前、重要な施設の位置や名前、被爆建物の位置などもよく知っているであろうか。外国人に案内するというだけでなく、いろいろと広島への理解を進めておくことがその前提条件であろう。英会話は必要に応じて備えておくこととしよう。伝えたいことがあれば、言葉は何とかなるだろう。

外国人の宿泊場所や食事場所等に対する配慮も、現段階では十分とは言えないが、これも今後日本人の生活形態が多様化することに対する多様なシステム整備と考えれば、特別のことではなくてよいであろう。やるべきことは沢山ある。

ところがオリンピック招致運動を苦々しく思い出すのは、まさに日本人のおもてなし精神を売り物にして、放たれた言葉「(福島原発の汚染水は)アンダーコントロールされている」とする安倍首相のスピーチである。これによって福島の人たちがいかに傷ついているかは、福島を訪れてみればよい。おもてなしの態度を売り物にして、ある目的を実現しても、このことによって多くの人たちが傷ついているとすれば、矛盾、ごまかし以外の何物でもない。様々な形で日本人が、外国人におもてなしの態度で接することはよいが、そこに隠された計算が働くとき、真のおもてなし精神は崩壊するのであり、どこかで不誠実さを露呈してしまうであろう[2)]。

広島駅に行くと、南口のみどりの窓口に切符購入のために多くの外国人旅行者が並んでいるこ

とがある。日本人の中にはあまりに待たされるので、自動販売機で切符を購入することもできるが、外国人には無理のようで、中には乗りたい便を逃すことにもなる。待ち行列の理論からいえば、２～３の窓口を増やせば、あっという間に待ち行列は解消するはずである[3)]。これは特におもてなしの必要な広島駅で見られる事態であるが、去ろうとする外国人に広島の印象として刻まれることに気付かなければならない。

外国人旅行者で混雑する
みどりの窓口

今、おもてなし以上に（とともに）重要なこと－日本の魅力を維持できるか

おもてなしの態度について、あれこれ論評してきたが、日本には重要なことがあるはずである。

今まで日本の魅力として、比較的治安が維持されていて、街が安全であること、盗難が少なく、物を紛失しても返ってくる可能性があること、親切な人が多く、だまされる心配が少ないことなどが、挙げられてきた。確かにある国に旅行したことのある人たちの経験から言えば、物を盗まれるのは日常茶飯事で、無事に帰ってきたという人が少ないとさえいわれる。

ところが、日本でも震災後に被害建物に侵入され、家財道具や高価な品物が盗まれるようになった。犯人が日本人かどうかは不明であるが、残念ながら、日本は今、次第に安心安全な国といえない事態が増加傾向にあり、街の安全性も次第に脅かされており、警戒しなければならない。振り込め詐欺(最近では特殊詐欺というらしい)も一向に無くならず、このような国がとても魅力ある国とはいえないであろう。

すべての他人を疑いの目で見る必要はないが、街を一定の水準に保つためにみんなで見守り、環境改善に取り組んでいくという姿勢が必要な段階になっている。次々に出現してくる新たな日本の魅力を台無しにしようとする動きに対して適切に対応していかねばならない。

要するに、日本に対する高評価に安住していると、気が付けば逆転現象という恐ろしい結果が待ち受けている。そういう意味で、今やかつての日本の魅力さえ維持していくことに、様々な困難があり、それを克服しようとする不断の努力が、結果的に日本のアイデンティティの維持や発展、さらには国際交流の原点となるということではないか、と思えるのである。

注１）　広島市観光企画担当によると昨年訪れた観光客数は約 1199 万 7 千人で過去最高、外国人観光客は 102 万人で初めて 100 万人を突破、増加率 56.6%、トップスリーはアメリカ、オーストラリア、台湾で、中国、香港からも伸びているという。(2016 年 6 月 11 日付朝日新聞)

注２）　もし、東北の復興を早く終わらせて東京オリンピックに集中したいという政府の態度が露わになれば、それこそおもてなし精神が、いかに底の浅いものであったかを示すことになろう。

注３）　広島駅は現在南北自由通路建設に伴う改装工事中で、これに合わせてぜひともみどりでの窓口数を増設してほしい。新大阪駅での窓口は多数の切符購入者に対して待ち時間短縮を考えて対応している。

ひろしまのまちづくりの動き

① 現職のオバマ米大統領、初めての広島訪問

５月２７日夕刻、オバマ米大統領が平和記念公園を訪問。平和資料館を見学し、原爆慰霊碑に献花した後、１７分間の演説。

その演説の最後は「私たちの未来では、広島と長崎は核戦争の夜明けとしてではなく、道義的な目覚めの始まりとして知られることになるであろう。」と締めくくる。

資料館では「私たちは戦争の苦しみを経験しました。共に、平和を広め、核兵器のない世界を追求する勇気を持ちましょう。」と記帳。

大統領の演説に謝罪の言葉の有無が注目されたが、訪問自体にその気持ちは表れているのではないかと思う。オバマ大統領に過大な期待を寄せるのではなく、市民自身が世界平和と核廃絶に向けた努力をしていくことが広島の使命ではないか。

オバマ大統領の演説
（代表撮影）

＜コメント＞　まちづくりにおいても、その努力を後押しするような環境づくりが求められている。そのバックボーンが広島平和記念都市建設法の精神であり、そのコアが平和記念公園と中央公園であり、旧球場跡地はその中核をなす場所ではないかと思う。

② 広島サッカー場はどこへ？

こう着状態だった広島市街地へのサッカー場建設問題も進展するか。６月７日、サンフレッチェ独自案を久保会長が商工会議所の役員たちに説明。深山会頭は県・市・商議所・サンフレのトップによる４者会談が開ける環境づくりに乗り出し、１３日に松井市長、２３日に湯崎知事と面談し、久保会長の意向を伝えた。

行政側はトップ会談の前の事務レベルの協議を求めているが、サンフレ側が受け付けず、書面によるやり取りに終始しているという。オーナー会社のトップダウン方式と行政のボトムアップ方式にこだわっていては、いつまで経ってもかみ合わない。ここはトップが腹を割って話をし、決着を図るのが望ましい。

新聞記事によると、知事は『「都心の核である球場跡地に導入すべき機能は何か」、「サッカーだけでなく、幅広く集客できる夢のあるスタジアムはどこなら可能か」という観点から検討している』と言う。また、市長は「スタジアムは２００万人都市圏構想の中で位置づけたい」、「球場跡地は周辺の既存の公共施設の建替えと調和させながら活用したい」とある。

一方、久保会長は「球場跡地でなければサンフレ（オーナー会社エディオン）のメリットにならない」と強気の姿勢を崩していない。双方の歩み寄りのハードルは高いが、トップ会談で広島のまちづくりに対する思いを真摯に語り合えば、自ずと道が開けるものと思う。

（編集委員　瀧口信二）

○広島の復興の軌跡（第１９回）～旧広島市民球場～

旧球場跡地の現状は、周囲に仮囲いが設置され、時々フードフェスタ系のイベント等が開かれている。開催中は賑わっているが、利用されていないときは閑散としている。熱烈なサンフレッチェ・ファンからはこの地にサッカー場を望む動きが活発化している。その熱い気持ちもわからないではないが、この地の持つポテンシャルを最大限に発揮する最適な役割を見出すために、ここは冷静にこの地の歩みを振り返ってみたい。

基町の歴史

1589 年、毛利輝元が築城を始め、この地を広島と命名。広島城の外堀と太田川に囲われた城郭一帯は「広島開基の地」として基町と呼ばれる。江戸時代には武家屋敷が広がり、明治以降は陸軍第５師団が置かれ、軍都を象徴する町となる。

広島城の南側にあった西練兵場は、軍の許可があれば博覧会や物産共進会のイベント等も開催。毎年、戦死者を慰霊する広島招魂祭では競馬等が開かれ、屋台や見世物小屋で賑わい、市民の楽しみの場となっていた。

球場跡地は広島護国神社の前広場と広島第一陸軍病院第一分院にまたがっている。1945 年の原爆投下により軍の施設は倒壊・炎上し、基町は壊滅状態となる。

戦後の変遷

敗戦により軍用地は撤収され、普通財産の国有地に戻る。1946 年 8 月には旧護国神社前広場で平和復興広島市民大会が開かれる。1947 年に市民から名称募集を行い、慈仙寺鼻広場を「平和広場」、護国神社前広場を「市民広場」と決定。

1949 年第 3 回平和祭

1947 年、48 年の第１回と第２回の平和祭式典は平和広場で、49 年の第３回は市民広場で開催。1947 年 12 月の広島巡幸では、天皇が市民広場で約５万人の市民を前にお言葉を述べられた。

1946 年の戦災復興都市計画で周囲を中央公園として指定されたが、戦後の住宅不足を解消するため公営住宅が建設される。

1949 年に広島平和記念都市建設法が制定され、1952 年の平和記念都市建設計画では平和記念公園と原爆ドーム区域のみ平和記念施設に指定され、中央公園は外された。

1950 年頃の遠景

広島市民球場建設の経緯

1950 年に広島カープが結成され、観音の県営総合グランドの野球場をホームとする。1953 年頃から交通の不便さと炎天下で

の観戦を解消するため、市の中心部にナイター球場建設の機運が高まり、市議会・県・地元経済界・球団が一体となって「市営市民球場建設促進委員会」を設置。

1954 年、基町が建設予定地に決まったが、住民の立ち退き反対運動や国との交渉に難航。1955 年の市長選で浜井市長から渡辺忠雄市長に交代し、渡辺市長は球場建設を公約に掲げ、その推進を確認。1956 年に場所を児童文化会館前の市民広場に決定したが、建設費の目途が立たず再び停滞。

1957 年市民球場完成当時

地元財界で構成する二葉会等からの寄付により 1957 年 7 月に広島市民球場が完成。広島カープのホームグランドとしてのみならず、市民のレクレーション施設としても幅広く利用された。

オープン当時は約 1 万 7 千人だった観客収容人数もスタンドの増設を重ねて約 3 万 2 千人まで増えたが、2000 年代に入ると他球場に比べて狭隘なフィールドと諸設備の老朽化が進んだことから新球場の建設が検討される。

広島駅ヤード跡地へ移転決定

広島の復興のシンボルとして現地建替えの強い要望もあったが、2005 年に建設場所を広島駅のヤード跡地とする「新球場建設の基本方針」を決定。その後、球場跡地利用の提案募集や検討会議が開催され、2010 年に跡地利用計画図のイメージ図まで公表されたが、決定に至らず。

一方、2009 年 4 月に新球場がオープンし、カープの本拠地となる。旧球場は 2010 年 9 月に閉鎖され、解体が始まり、2012 年 2 月末にライトスタンドの一部を残して解体が完了。

解体後の動き

2011 年 4 月、松井新市長が誕生し、前市長時代の跡地利用計画案の全面見直しを宣言。球場跡地の活用策を考える跡地委員会を開催し、2013 年 3 月には「芸術文化」・「緑地広場」・「水辺」の 3 エリアを設定すると結論付けたが、2013 年 6 月にサッカースタジアム検討協議会が始まって中断し、現在に至っている。

2013 年、民間にも無料で利用できるように市の公園条例を緩和し、2014 年からは公園として一般開放したが、仮囲いが残る閉鎖的な空間のため、日常は人が寄り付かない。

行政は、サッカー場問題のケリがつかないからと言い訳をするだろうが、４年間放置したことによる社会的損失を考えて欲しい。**今、この地は持てる力を発揮できずに泣いている。**

（編集委員　瀧口信二）

□ほっとコーナー　『奇跡の再会』

雑貨店経営　山田ゆかり

10 年前のこと。
店の前を掃除していると、１匹の猫が足の周りをウロウロ
当時、猫が苦手な私は「なんだ！この子は」と戸惑いましたが、動物好きの主人は、その子に餌を食べさせ、寒いだろうと、店の前に小さい小屋を作ってあげました。
その子は、いつの間にか店の中に入ってくるようになり、
ソファで寛いでいるのです。
その子は「まいき～」と名付けられ、店の子になりました。それから 5 年後、5 年ぶりに来られたお客様が、まいき～を見て、「うちにいた子によく似ている」と言われ、いやそんな話はよくある事と聞き流していましたが、なんと、まいき～が 5 年前にいなくなってしまっていた子だったのです。まさに奇跡の再会！今も、お客様とは親しくしています。まいき～も皆様に可愛がっていただいてましたが、今年、まいき～は天国に行ってしまいました。
悲しみに伏せていましたが、5 月の事。まいき～にそっくりな子が、また店の前にやって来て、今はソファの上です。こんなことってあるのでしょうか…
これもまた、奇跡の再会。

私を猫好きにしてくれてありがとう！

○ひろしま市民ひろばの提案！

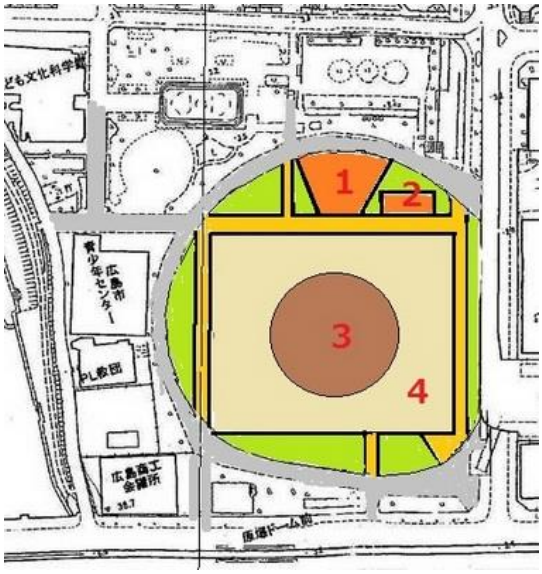
２０１１年に広島市中央公園アイデアコンペを終え、地元の建築家として何か提案しなければという思いから、日本建築家協会中国支部広島地域会のまちづくり委員会で検討し、ひろしまのグランドデザイン「ひろしま市民ひろば」をまとめた。２０１３年３月に広島市に報告し、各種イベントにおける展示・発表等で多くの意見をいただいた。さらに議論の輪を広げるため、これからより具体的な提案を順次紹介していく。

ステップ１．とりあえず今すぐできること

日常の生活の中で本当は大変重要なことだけれども、直接自分に影響がないとついつい見逃していませんか？

旧広島市民球場跡地は、面積 2.63 ヘクタール、前面路線価 50 万円／㎡として地価総額は 130 億円を超える市民の貴重な資産です。ここは、平成 22 年度(2010 年)9 月 1 日で閉鎖され、解体された旧広島市民球場は 6 年を向かえて、未だにその活用が軌道に乗っていません。

現在の球場跡地は、本格的な施設整備までの暫定利用として、平成 25 年(2013 年)9 月以降、同跡地を含む中央公園について、イベント開催に関する公園使用の許可要件を見直し企画提案型の公開利用を実現しています。1 年間の利用実績を見ると稼働しているのは、（平成 25 年度 69 日延べ約 125 万人）（平成 26 年度 56 日延べ約 67 万人）（平成 27 年度 61 日延べ約 75 万人）（平成 28 年度 16 日延べ約 17 万人、6 月 17 日現在）であり、概ね延べ 60 日程度、平均利用人員は約 90 万人である。これら以外の 300 日は塀に囲われて利用されていません。むしろ通行の邪魔だし防犯的にもいただけません。



1：スタンドに屋根を架け仮設ステージ
2：仮設トイレ、倉庫、他
3：木れんが等の仕上げ
4：芝張り等（ベンチ・日よけ等配置）
グリーン部は緑化整備、イエロー部は歩道
その他、給排水、街灯・照明塔等の設備
球場跡地の配置図（案）

これまでの一連の跡地利用計画の過程や事業方針の内容が物足りないと感じている市民は多いのではないか。オバマ大統領の広島に思いを寄せたスピーチやオリバーストーン氏などの著名人がひろしまを訪れて、思いを寄せて意見を述べています。外国人観光客が日本で行きたい都市として上位に挙げられるひろしまの原爆ドームと対峙するこの空間の利用は、平和を願い、こどもたちにこれを伝えるものでなければなりません。

暫定利用といいながら、利用できないのはどうでしょうか。少なくとも目標とする姿に向けての第１歩として、とりあえず今すぐできることを挙げてみましょう。

あの塀は止めませんか。せめて地面は、木とか芝とかで覆えませんか、給排水や電気などを最小限用意できませんか、いつでも誰でも自由に利用できるのが公園・ひろばではありませんか。365 日間 3000 人が利用すると約 100 万人となりますよ。

イマジンサークル

ニューヨーク、セントラルパーク、ストロベリー・フィールズにあるイマジンサークルを心ある市民が集まって、ここに誘致しよう。

（日本建築家協会広島地域会まちづくり委員会　前岡智之）

○「時代を語り建築を語る会（第１３回）」報告　語り人：西本雅美氏
～原爆報道を考える－被爆直後からプレスコード下、そして今～

中国新聞社の中でも特に被爆問題に精通した西本氏より、原爆報道の実態や問題点等について具体的に語ってもらった。

主催：時代を語り建築を語る会実行委員会（代表：石丸紀興）
日時：2016 年 6 月 18 日（土）15:00～17:00
場所：合人社ウェンディひと・まちプラザ

略歴：広島市生まれ、1980 年中国新聞社入社、1986 年報道部所属、2016 年定年退職後、特別編集委員

☆　被爆直後の原爆報道

・1945 年 9 月 3 日、後の侍従次長が天皇の名代として広島入りし、同行した日本映画社が「広島市の惨害」を撮影。映画館で日映ニュースとして上映。天皇もその映像を目にする。（会場で映像を流す）
・同日に欧米の従軍記者団が広島に入り、連合国軍ニュースとして被爆後の惨状を伝える。（アメリカのニュース映像を流す）
・米物理学者が述べた「７０年不毛説」を毎日新聞が 8 月 23 日付で報じ、広島市民を震撼させたが、9 月 10 日付で中国新聞は「嘘だ、七十五年説」と報じ、15 日付で「死者十一万人を超ゆ」、「原子爆弾症は免れず」と伝える。

☆　検閲（プレス・コード）

・1945 年 9 月 19 日、連合国軍総司令部（ＧＨＱ）は新聞を始め出版、ラジオ放送、映画を検閲するプレス・コードを指令。目的は占領軍に対する不信や怨恨を招く内容を封じるため。
・一方、廃墟からの復興や平和に焦点を当てた報道は認められていた。民間検閲局（ＣＣＤ）は 1949 年 10 月に廃止されたが、1950 年 6 月に米ソ対立に起因する朝鮮戦争が勃発すると、ＧＨＱの指示により各報道機関は、共産主義者またはその同調者とみなした人たちを解雇。1950 年の広島市の平和祭も突如中止。戦後の報道の自由も占領下における管理された自由でしかないと思い知らされる。
・1952 年 4 月、対日講和条約が発効し占領が終了。メディアの自己規制が解かれ、原爆関連の情報も広く取り上げるが、多くは同情の域にとどまる。

☆　広島の平和運動

・原爆は身の回りの生活基盤を根こそぎ破壊し、被爆者は生きていくことで精一杯。復興は、原爆で肉親を失った人たちや疎開先や戦地から戻った市民、転居してきた人たちが、生活再建に取り組むなか、全体として進んでいった。戦争に対する憎しみ・怒りから戦後の民主化がスタートしたが、広島の戦後の平和運動は決して先鋭的ではなく、風土に根差した温和なものだった。1949 年に広島の戦後最大の労働争議と言われる日鋼争議が起きたが、占領軍の命令によりストは解除され、労働運動も制限された。

☆　平和運動の貸座敷

・1954 年 3 月、米国の水爆実験による「死の灰」を浴びたビキニ事件が発生。原水爆禁止運動が高まり、1956 年に日本原水爆被害者団体協議会が結成されるが、社会・共産両党と支援労組の路線対立から 1963 年、原水爆禁止世界大会は分裂。「ソ連の核実験の灰なら浴びてもいい」という発言まで飛び出す。死者が眠る広島の地でそのような論争をして欲しくないという怒りの声として、中国新聞は「広島は平和運動の貸座敷ではない」という社説を掲載。

☆　ヒロシマ２０年

・1965 年の夏に中国新聞は、取り残され苦しみを強いられる被爆者の側に立った特集を組む。その流れで在韓被爆者の存在をルポし、在外援護の扉を開く。原爆の威力ではなく、原爆による人間的悲惨さを世界に知らせなければいけない。国家の論理から人間の側に立つべき。

☆　進む定型・形骸化

・最近の傾向として、裏付けを取らない誤った記事が散見したり、安易にステレオタイプ化したり、分かりやすく物語化することが見受けられる。積み重ねられた原爆の記録と記憶を正しく語り伝えていくことがメディアの役割である。

（編集委員　瀧口信二）

○瀬戸内の集落研究の話し（第１回：「祝島集落」の前編）

森保洋之（広島工業大学名誉教授）

私は、1981 年広島着任後直ぐ、民俗学者：宮本常一氏の訃報に愕然とした。その後、瀬戸内の集落の佇まいとその形成要因が気になりながらも、それが叶わず、漸くその研究に取組むのは 20 年を経た 2001 年であった。振り返ると、研究の目途・思い込み先行から集落に入るのではなく、集落の声を真摯に聞くことから始め、時間を、例えば 1 集落 10 年以上かけて、集落を読み解くことの大切さ、更に農村・建築・都市等の計画、環境工学・社会システム、更に文化人類学ほか多分野を加えた学際的狭間に身を置くことから見えてくる拡がり･深さ､その意義の重大さ等々は、本研究の性格を示す要因と思う。この度、その瀬戸内の集落研究を、祝島・平郡島・沖家室等の集落及び集落研究の意義等々も加え、4 回シリーズでお話しするが、今回は祝島の前編である。

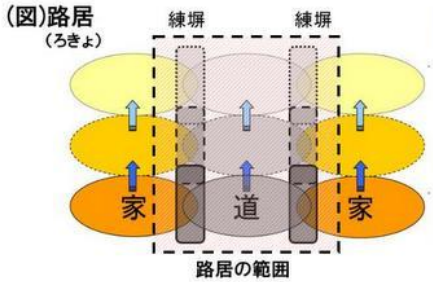
2001 年夏、私は、祝島を神舞（かんまい）と練塀（ねりへい）の風景を求めて訪れた。神舞は、大分県・国東半島の伊美別宮社と祝島との千年を超える交流：海を渡る神事で、現在はオリンピックイヤーに開催され、祝島にて神楽奉納がなされるもの。練塀は、独特の石・土壁で、それが主要な道（本道）沿いに連続する独自の風景を見せているもの。半農半漁の集落だが、海沿いの漁村に見えながら､実は畑が集落の内や山側にあり､農村型の色合の濃い､稠密な集落といえる。私は、総じて練塀の方を注目したのである。

そもそも祝島は、周防灘と伊予灘の境に浮かぶ周囲 12 ㎞の島で、その北東側に人口：約 410 人の集落がある。定期船で柳井港から 70 分、室津から 40 分の位置にあり、山口県にあるが、大分県・愛媛県の境目の離島で、起伏・水路に従順に道を造り、それに沿って家を造るという、碁盤目状ではない自然順応型の基盤形成が特徴の集落である。

祝島の練塀は、厚さ 50 ㎝程で両側に石を並べ、その間に土を入れ、それを徐々に積上げ、塀や軒の高さ程にし、上部に瓦屋根を置き、道（通り）側の土の部分に漆喰を施す塀型が一般型である。後の調査で、この型を含む 9 つの型が認められたが、概ね、塀型の他に、その家の壁となる壁型、更にその壁型で、上部に倉庫等を造る場合、柱を入れ壁を強化した型、他がある。練塀は、家と道の仕切りの意味、過酷な自然から家を守るための防風・防火上の意味、道の両サイドに石と漆喰の織り成す練塀が連続する景観上の美しさの意味等々がある。その練塀が、集落の主たる道（本道）に沿って連なり独特の風情を醸し出す形式は、全国の海や湖に面する自治体調査の結果、他に例は見られず、独自性が高い。

実は、練塀が連なることは、道を介し両サイドの家屋もセットで連続することになる。この練塀・道・家屋が一体となって、家並みや町並みを形成する形式を、私は路居（ろきょ）と命名した（図：参照）。農・漁村の分野で、〔集村―集居〕、〔散村―散居〕、〔路村〕という類型があるが、最後の〔路村〕の部分が、祝島調査から〔路村―路居〕と云うことになろう。

この路居に関して、大きく２つの課題がある。その第１は、門（かど）に係わることで、祝島の門は、家の前庭をいい、神舞や冠婚葬祭時は、門とその道側の空間は、その準備のため近隣住民の共用の場になる。この門と屋敷各部との配置形式は、端的には、門自体が通り抜けなしの場合と、通り抜けがあり奥の庭・畑等に繋がる場合とで異なる類型である。門は、私と公の区分では私空間であるが、使われ方から、それらの中間



《練塀：機能①～④。路居：概念②～④。効果：防風・防火・防波・構造壁・環境（景観）壁》
①所有形態：本道（ほんみち）は公有地、練塀・家は私有地に存在。
②物的形態：練塀は道、家を形づくる。
③意識形態：練塀の家側は家を形成する要素、練塀の道側は道を形成する要素。
④集住形態：道、練塀を介在として家が取り付き、道に沿って連なり、家並み・町並みを形成。

の共的な意味を持つ空間と云える。実は、門の他に、セドを通る道（各家の勝手口を結ぶ道）、ジンギミチ（表の道に出るために、表の道側の家の軒下等の空間を通してもらう仁義に対し、節度ある態度を示しながら通る道）、アイゴ（建物と建物の間の道利用）ほか、多数の共的な場があり、私有空間だが、利用上は準私的な共空間が極めて豊かに現在も存在しているという特徴もある。実は、故：地井昭夫先生は、沖縄との比較から門文化の決着を付けるため、一緒に祝島に行こう！と私に声掛け、その後直ぐに入院・他界された。その想いは叶わず、今も残念に思っている。

第 2 は、門との関係以外の、道への家の取付き方で、主に壁型である練塀により形成され、空間変化が継時的に特徴のある型が注目された。その一つは囲い込み型と云え、ジンギミチが練塀により塞がれ、練塀で住まいの敷地全体が囲い込まれるもの。二つ目は内部増設型と云え、練塀で全体を括らない、そうした練塀の小さな括りを隣地に順次に増設して行くもの。この小さな括りが、練塀により全体を括る場合は、第三の型となろう。路居に取付く、住宅集合の型があるという訳である。

以上、全体的に見て、練塀／本道に沿った形成／路居、門／共的空間、住宅集合の型、等々が注目され、それらが実は入れ子（注１）構造的な特徴にある。実は建築の SI システム（注２）を祝島の路居に当て嵌めてみた。その詳細は割愛するが程々に該当したのである。これは建築と住宅集合の入れ子構造的係りの証左とも云えよう。次回は祝島の株（かぶ）と集落形成の話しです。

（注１）入れ子：同様の形状の大きさの異なる容器などを順に中に入れたもの

（注２）SI システム：スケルトン（構造体）とインフィル（設備等）を分離した工法

《謝辞》祝島研究は祝島の橋部好明氏の多大なるご協力・ご支援あっての成果です。深く感謝致す次第です。

○お知らせ：響け！平和の鐘　記念式（第２回）

～　みんなで鐘を打ち鳴らそう　～

○ 開催の趣旨

広島市中央公園に、現存する最古の「平和の鐘」がひっそり佇んでいます。この鐘が被爆 70 年、市民有志の手によって 66 年ぶりに広島の空に鳴り響きました。再び“鳴らずの鐘”と呼ばれないよう、毎年、原爆の日に追悼の集いを開催します。「平和の鐘」を参加者全員で打ち鳴らし、原爆死没者の慰霊と核兵器も戦争もない世界の実現を願います。

ヒロシマの生き証人とも云える、この「平和の鐘」の響きをよみがえらせ、被爆都市として世界恒久平和の実現を目指すヒロシマの原点を改めて考えます。

中央公園に現存する最古の「平和の鐘」

○ 式典の概要

① 日　時　　平成 28 年（2016）8 月 6 日（土）
　　午前 9 時 30 分～10 時 30 分　（雨天決行）

② 場　所　　中央公園・ハノーバー庭園の南広場

③ 主　催　　響け！平和の鐘　実行委員会

④ 式次第
- あいさつ
- 黙とう
- 「ひろしま平和の歌」合唱
- 「平和の鐘」代表者の点打
- 「世界の命＝広島の心」合唱
  （広島合唱同好会の皆さん）
- 「平和の鐘」点打（約 30 分間）
  参加者全員が順番に鐘を打ち鳴らす

昨年、第１回の様子
8 月 6 日撮影：三宅恭次

○ 一般市民参加　　当日、式典には誰でも自由に参加できます

○ 実行委員会・連絡先　　090-8604-7833（高東）

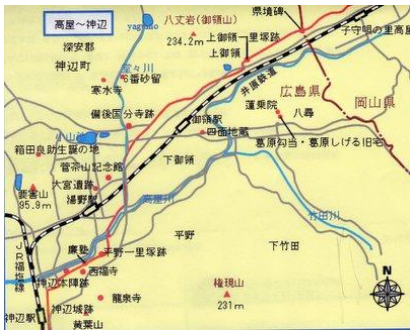
○こまちなみシリーズ⑪

金沢市はまちの歴史を色濃く残した、ちょっとした町並みを「こまちなみ」として守り、育てるまちづくりを進めている。これに倣って、広島における残しておきたい「こまちなみ」を探訪し、シリーズで紹介してきたが、市内周辺から広島県内に対象を広げていく。

江戸時代の面影残す旧山陽道「神辺宿」

神辺と聞くと、かつてバレーボールの強豪校だった神辺旭高校を思い浮かべる程度の知識しかない私は、新幹線経由福塩線でＪＲ神辺駅に降り立った。福山から三つ目、およそ１５分。ご多分に漏れず人通りの少ない駅前。色褪せた観光案内板で確認して、神辺本陣跡、菅茶山の廉塾を目指して歩き出す。

路は普通車がやっとすれ違うことができる程度。なまこ壁に格子戸の家が目に入って来る。江戸期には商家だったようだが、恐らく今は普通の民家だろう。こうした江戸期の建物が残る一帯の道路は屈曲させるカギ型、丁字路で行き止まり状になっているところもある。



周辺地図

神辺本陣跡

高屋川沿いの旧道。十日市、三日市、七日市と呼ばれるこの通りに入るとさらに漆喰や白壁造りの家が軒を連ねる昔ながらの風景。しばらく歩くと黒塗りの土壁に囲まれた屋敷が目に入る。門は閉められたまま、案内板をみると、ここが広島県重要文化財・史跡「神辺本陣」だ。日曜、祝日はボランティアガイドが案内してくれるが、あいにく平日だったため中に入ることができない。ガイドブックによると本陣施設は延享３年（１７４６年）の建築。大名が宿泊する際は本陣役の居宅も含めその部屋数２７、畳枚数２００余枚。５０人から７０人が泊まることができたという。現在、本陣役の住居部と本陣役が営んでいた酒造関係施設は消滅しているが、本陣関係施設はほとんど残っている。正面から入ると御成りの間、ニの間と続き、札の間には休泊した大名の名前を記した「関札」が多数掛けられているという。これはやはり日を改めて、公開される日に行き、中を見学しなくては…。

廉塾の表門

本陣跡からさらに北向きに歩くと廉塾がある。今から３０年くらい前、東京勤務時代に電通の友人から「菅茶山の廉塾を是非訪ねてみたい」と言われ「それなに？」と問い返し自らの不明を恥じた苦い思い出がある。菅茶山（１７４８年～１８２７年）は京都で朱子学を学び、この地に塾を開いた。彼は当代一の漢詩人であり、困窮時に備えて米麦を蓄えておく朱子社倉法を実践した社会実業家でもあった。当時この廉塾には全国から著名な文人墨客が訪れ、江戸後期、神辺に教育・文化の花が開いた。廉塾は表門は開いており中に入ることができる。講堂、寮舎、居宅は現存している。当時塾生が硯や筆を洗った水路、養魚池、菜園も残っており、菜園には今も畝を作り夏野菜が植わっていた。

ここから駅方向に引き返す途中、小さな蔵だが知る人ぞ知る銘酒「天寶一」がある。１９１０年（明治４３年）創業、辛口のキレの良い酒で和食を活かす名脇役としての酒造りを心掛けているという。純米吟醸を一本求め駅へと向かった。

駅に着くと丁度福山平成大学のマイクロバスも到着。若者たちの他愛無い話、笑い声を耳にしながら、神辺を後にした。

（編集委員　三宅恭次）

（写真は筆者）

□編集後記

バラク・オバマ大統領からのメッセージ

世界はここで永遠に変わってしまった。今日、この都市（ひろしま）の子供達は平和の中で日々を生きていくだろう。なんと貴重なことだろうか。そのことは守る価値があり、そして全て（世界）の子供達に広げる価値がある 。------- だからこそ我々は広島に来たのだ。われわれ（ひとりひとり）が愛する人々のことを考えられるように。（われわれの）子どもたちの朝一番の笑顔のことを考えられるように。台所のテーブル越しに妻や夫と優しく触れ合うことが考えられるように。（それぞれの）父や母が心地よく抱きしめてくれることを考えられるように-----

（5 月 27 日　広島訪問の際のスピーチより抜粋）

どのように感じられましたか？

改めて広島の街の果たすべき役割を再認識された読者も多いのではないかと思います。6 月 25 日には国民投票によりイギリスがＥＵからの離脱を決定しました。最近の広島東洋カープは絶好調が続いていますが、黒田投手の日米通算 200 勝は足踏みをしました。7 月 10 日には 18 歳・19 歳の若者が初めて参加した参議院選挙があり、政治体制も新たになりました。

慌ただしい今日この頃ですが、これからますます暑くなりますので、体に気を付けられ、お元気にお過ごしください。

（編集委員　前岡智之）

＊メルマガを読まれての感想や質問及びひろしまのまちづくりについて皆さんの自由な提案・意見をお聞かせください！

（投稿は５００字程度以内でお願いします）

アンケートにご協力ください！

Ｑ１．あなたは広島が好きですか？

- **・好き**ーーーーーー　・何が好きですか？　・どうして好きですか？　・さらによくするにはどうしたらよいですか？
- **・嫌い**ーーーーーー　・何が嫌いですか？　・どうして嫌いですか？　・どうしたらよいと思いますか？
- **・どちらでもない**ー　・なぜですか？

Ｑ２．あなたの属性を教えてください。

・性別（男・女）　・年齢（何十歳代）　・住所（広島市内・市外）

＊アンケートの回答は、下記にメールで送信ください。

回答先：hirosima.idea.c@chugokuc.co.jp（広島アイデアコンペ実行委員会事務局）

編集委員

石丸紀興　広島諸事・地域再生研究所主宰
高東博視　心豊かな家庭環境をつくる広島２１理事
瀧口信二　広島アイデアコンペ実行委員会事務局
通谷　章　ガリバープロダクツ代表
前岡智之　中国セントラルコンサルタント代表
三宅恭次　元中国放送役員